

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第2回 豊中市産業振興審議会		
開 催 日 時	令和7年（2025年）11月21日（金） 18時00分～19時30分		
開 催 場 所	Zoomを利用したオンライン開催	公 開 の 可 否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可
事 務 局	都市活力部 産業振興課	傍 聴 者 数	1人
公開しなかった理由			
出席者	委 員	和田委員（会長）、東委員、稲垣委員、淵上委員、石川委員	
	事 務 局	高島都市活力部長 産業振興課 水谷次長兼課長、荒木主幹、垣内副主幹、若林係長、牟田主査	
	その他	株式会社都市・計画・設計研究所	
議 題	(1) 新・産業振興ビジョンの中間見直しに係る素案について  (2) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

## 令和7年度第2回豊中市産業振興審議会議事録概要

日時：令和7年11月21日（金）18時～19時30分

開催方式：通信アプリZoomを利用したオンライン開催方式

出席者：和田委員（会長）、東委員、稲垣委員、湊上委員、石川委員

事務局：高島部長、水谷次長兼課長、荒木主幹、若林係長、垣内副主幹、牟田主査

その他：株式会社都市・計画・開発研究所

傍聴者：1名

### 1. 開会

- ・事務局挨拶

- ・資料の確認

資料1 豊中市 新・産業振興ビジョン（中間見直し）素案

資料2 主な変更点と課題整理

資料3 アンケート結果(抜粋)

資料4 豊中市 新・産業振興ビジョン 新旧対照表（主な変更箇所）

- ・審議会の成立確認（委員の過半数の出席）：委員8名中5名にご参加いただいているため、本審議会は成立すること

- ・各委員挨拶

### 2. 案件

（1）新・産業振興ビジョンの中間見直しに係る素案について

（事務局）

- ・資料1～資料4に基づき説明

（会長）

- ・事務局が説明した報告内容について何か質問や意見はないか。

（委員）

- ・専門が環境系ということもあり、環境に関する視点が企業経営に絡めてどのように入っているかが気になっていた。近年はESG投資といった環境や社会を考慮した社会的価値を企業の評価項目として見ることも一般的になりつつある。今回の資料でESGにあたる箇所は18ページの地政学、19ページのSDGs、55ページのSDGsと脱炭素に関する記述かと思う。産業振興課として環境に対する評価を高めるための企業支援は行っているか。

(事務局)

- ・担当部局が別になるが、事業者向けの環境に配慮した車両への補助金や環境対策へのセミナーなどは取り組んでいる。ただ、担当が違うため現時点ではビジョンの中で触れてはいない。

(委員)

- ・企業への投資という観点から考えると、環境対策に関する評価軸を部局間で連携して高め、底上げすることをビジョンに盛り込んでもらえたら良い。

(会長)

- ・環境に関して担当部局と連携を取って推進していることが分かる文言を盛り込むことは可能か。

(事務局)

- ・いただいた意見を踏まえ、修正を検討させていただく。

(委員)

- ・人材不足が顕在化する中で、計画としてはDXやIoT、副業人材で補うための支援をしようとしているが、現状そういった手段に行き着かない経営者も多い。また導入には業務の見直しや切り出しが必要となるため、人を人で補おうとする事業者が多いのが現状である。経営者の意識改革を行うことが重要だと思うが、市としてどのような普及活動をしているのか。

(事務局)

- ・IT機器やシステムの導入などを対象とする補助金を設け、IT化の促進を図っている。AI活用についてもセミナーの開催や参加費用の補助、ソフトウェアの導入支援を行い、情報発信をしていく。

(事務局)

- ・補助金と連動してITコンシェルジュ派遣事業も行っており、商工会議所と連携して相談があった事業者者に専門家を派遣し、必要とされるシステムや設備に対して補助金を活用してもらいながら、事業のフェーズや相談者の課題に応じた支援を行える体制を整えている。

(委員)

- ・副業兼業人材とWebマーケティングについては相性が良いテーマであり活用事例が増えている。情報発信がうまくいっていない事業者が専門性を持った副業人材をうまく使うことによって効果を上げたというケースも聞くので、具体的な課題の解決に繋がるケースも出てくるかと思う。

(事務局)

- ・本市でも、副業人材を活用した際に副業人材に対する業務委託費の補助金を設けており、副業人材の活用を促進する点については力を入れている。

(事務局)

- ・副業人材の補助金や様々な制度を整備しており、制度を活用して成功した事例もあるがそれが皆さんに届いていない。副業人材活用のメリットを事業者の方々に浸透させるためにも、今後より一層の周知活動に取り組んでいきたい。

(委員)

- ・活用事例を周知することによって、自社でも使えそうだなと思っていただけることが最初の一步になると思う。

(委員)

- ・事業者によっては、IT化やデジタル化といった言葉のニュアンスが統一されていないことで導入を躊躇ってしまうケースが考えられる。そういった言葉の使い分けはどのように考えているか。

(事務局)

- ・明確に基準は定めていないが、内容に応じて伝わりやすいと思う表現方法を採用している。事業者間でもレベル感に違いがあるため、その段階に応じて適切に使い分けしていきたい。

(委員)

- ・たくさんの支援施策がある中で、事業者への認知にも関わってくると思うので、言葉の使い分けについては丁寧にしていただければと思う。

(委員)

- ・BCPの策定推進について、「引き続き」とあるが、アンケート結果を見るとBCPへの事業者の意識はそれほど変わっていないように見受けられる。今の手法のまま続けても浸透していかない懸念があり、何らかのテコ入れが必要ではないか。

(事務局)

- ・市内事業者に従業員規模が5人未満の中小企業も多く、BCPの必要性が浸透しない、または作成に至らないケースは多々あると考えている。

(委員)

- ・緊急性を感じてもらえていないのが大きな原因と思う。啓蒙活動だけでなく、例えばBCPを策定することによるインセンティブを設けるなど、もう一押しがあると良いのではないか。

(事務局)

- ・課内でもBCP策定の有無を補助金申請の際の評価項目に反映できないかといった話は出ており、今後検討していきたい。

(委員)

- ・ 周知をどのように行うかというのが最大の課題かと思う。お金に関してなら政策金融公庫、経営の課題の場合は商工会議所であるとか。中小企業白書によると税理士に相談が行くのが一番多い。実際の事業者が相談する際にどこに相談に行くのかを把握することで、周知活動がより効果的に行えるのではないかと。

(事務局)

- ・ 本市ではとよなか創業ナビという仕組みがあり、日本政策金融公庫、豊中商工会議所、とよなか起業・チャレンジセンターの4者連携で事業者をナビゲートしている。事業者の相談フェーズに応じて相談先を案内することができるが、この仕組みについても認知度を上げていく必要があると考えている。

(委員)

- ・ 市役所内でもできることがあるのではないかと考えていて、例えば人材不足の介護事業者であれば福祉部局に相談に行くこともあると思う。市役所内に対しても産業振興課が行っている施策を周知しておくことで、相談先の案内もスムーズになり漏れ落ちることも減るのではないかと。

(会長)

- ・ 行政の特性上縦割りの部分が出てくるため、今の意見は非常に大切な視点だと考えている。市役所内ですでに各課が連携しているとは思いますが、それが事業者には伝わっているか。また庁内に十分に伝わっているか。豊中市が良い施策を実施していても、必要とする事業者には案内されなければ元も子もない。相談先を適切にナビゲートできるよう努めてもらいたい。

(事務局)

- ・ ご意見いただいたように、例えば起業に関してであればとよなか起業・チャレンジセンターという施設があるといった案内を他の部局が相談を受けたときに紹介できることは大切。外向けに発信することも重要だが、庁内向けの発信にも力を入れていきたい。

(会長)

- ・ 千里地域の再整備に係る箇所で「千里地域の魅力・競争力の低下が否めない」という表現がある。これは商工会議所からの意見書を受けての表現だと思われるが、行政として前向きな表現を心がけていただきたい。例えば、「千里地域の魅力・競争力の維持が求められ」といった表現が良いのではないかと。

(事務局)

- ・ 仰る通りで、いただいた意見は修正に反映させていただく。

(会長)

- ・ 課題整理として①～⑦が挙げられているが、この順番に何か意味はあるか。

(事務局)

- ・新たに取組む項目の①～③については強調したい事項としてピックアップしている。

(会長)

- ・ここまで挙げた意見を踏まえて、事務局は答申案と最終版の作成を進めていただきたい。

(2) その他

- ・事務局からの連絡事項

(事務局)

- ・次回は1月27日に第3回産業振興審議会を開催。その際に本ビジョンの答申案の内容確認の審議と子育て支援サービス事業補助金、スタートアップ支援補助金、チャレンジ事業補助金の審査に対する意見に係る諮問を予定。
- ・ビジョンに係るその後のスケジュールについては、2月にパブリックコメントを実施し、3月下旬の第4回審議会で完成報告を行う予定。
- ・本日の会議録について、事務局で作成した案を、後日、委員の皆様にご確認いただき、内容を確定する。なお、会議録の概要については、豊中市HPなどで公開することを了承いただきたい。
- ・12月6日にとよなか産業フェアを開催。

(会長)

- ・本日予定していた案件は以上で全て終了した。これで令和7年度第2回豊中市産業振興審議会を閉会する。

以上